TOYOTOMI

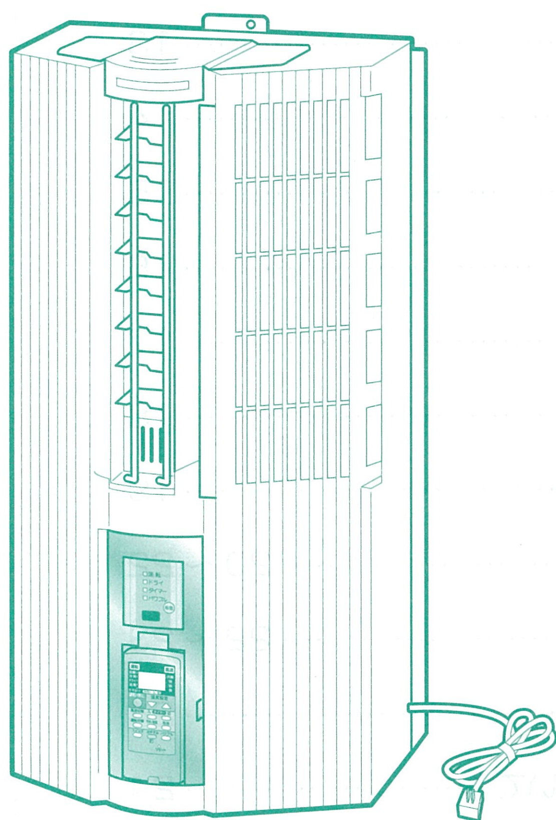
上手に使って上手に節電

トヨトミ ルームエアコン

型式 TIW-A180CSI

ティー アイ ダブル エー シー エス アイ

取扱説明書（保証書付き）



このたびは本機をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

- 標準枠を取付けの前に、必ず別冊の工事説明書を読んで正しい取付け方で取付けをおこなってください。
- エアコンをご使用の前に、必ずこの取扱説明書を読んで正しいご使用法でご愛用くださいますようお願い申しあげます。
- この取扱説明書は、別冊の工事説明書と共に大切に保管しておいてください。
- まちがった使用をされますと、機能を充分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故や危険を招くことがあります。



この製品には、オゾン層を破壊しない新冷媒HFC（R410A）を使用しています。

はじめに

このエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものです。
食品・動物・植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など特殊用途には使用しないでください。
また、能力以上の負荷で使用しないでください。

C03-1

8701000710

株式会社 トヨトミ

目　次

安全上のご注意（よく読んで必ずお守りください）

●お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
●ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険(DANGER)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告(WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意(CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

	この絵表示は、「禁止」されている内容です。		この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。

●説明文中の **「お願い」「お知らせ」** 事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

使用上の注意事項

⚠ 危険（DANGER）

●異常時（こげくさい等）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご相談ください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
また、長年使用された場合、経年劣化により部品に不具合がおこることがあります。
その状態で使用を続けますと、事故になるおそれがあります。定期的に点検を依頼してください。お買い求めの販売店にご相談ください。


電源プラグを抜く

取付け上の注意事項

⚠ 警告（WARNING）

●電気工事が必要な場合は、お買い求めの販売店または専門業者に依頼する。
配線等に不備があると漏電や火災の原因になります。
●取付けは、重量に耐える所に、取付け工事説明書に従って確実におこなう。
取付けが不完全な場合は、水漏れ、感電、火災、エアコン落下によるケガの原因になります。
●取付けは、必ず附属の「標準取付け枠」を使って正しく取付ける。
取付け枠や取付け方法に不備があるとエアコン落下によるケガの原因になります。


指示

●アースを確実におこなう。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
アース工事は、電気工事士の資格が必要です。お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。


アース

⚠ 注意（CAUTION）

●設置場所によっては漏電しゃ断器を取付ける。
お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。


指示

●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置はおこなわない。
万一ガスが漏れてエアコンの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。




禁止

取付け上の注意事項

⚠注 意（CAUTION）

●運転中はエアコン背面の窓を完全に開ける。エアコンを窓の右側取付けの場合、一度窓を完全に開けてから標準枠に窓のパッキンがあたるまで閉めてご使用ください。
閉めたまま運転すると、温風で窓ガラスの破損やエアコンの故障の原因にもなります。また、室外側の吸込口や吹出口が一部でもふさがれていると機械の保護のため冷風が出なくなることがあります。


指示

移設・修理時の注意事項

⚠警 告（WARNING）

●修理は、お買い求めの販売店または、別紙の お客様相談窓口一覧 に相談する。
ご自分で修理をされ、不備があると感電・火災等の原因になります。


実施

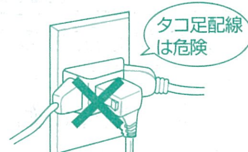
●エアコンの移動や再設置をする場合は、標準枠取付け工事説明書に従い確実におこなう。
取付け不備があるとエアコンの落下・感電・火災等の原因になります。


指示

使用上の注意事項

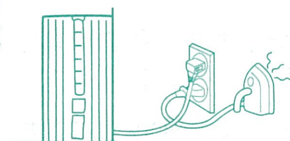
⚠警 告（WARNING）

●電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしない。
屋内配線（壁の中の配線）の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの発熱の原因になります。



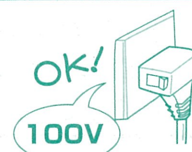

禁止

●屋内の壁コンセントで２口以上になっていても単独で使用する。100V15A 以上のコンセントか確認する。また、他の電気器具の電源プラグは同じコンセントに差し込み使用しない。
屋内配線（壁の中の配線）の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの発熱の原因になります。



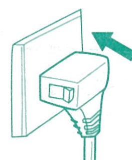

禁止

●電源は交流 100V 以外で使用しない。
100V 以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災・感電の原因になります。



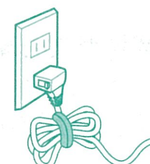

禁止

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。電源プラグにたまったほこりなどは定期的に掃除をしてください。




確認

●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。
使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

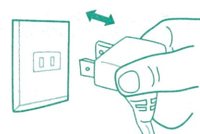



禁止

使用上の注意事項

⚠ 警告（WARNING）

●電源プラグを抜いてエアコンの運転を停止させない。
感電や火災の原因になります。



禁止

●電源は配電盤からエアコン専用に引いた回路を使う。
屋内配線（壁の中の配線）の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの発熱の原因になります。


確認

●長時間冷風を身体に直接当てたり、冷し過ぎない。
体調悪化・健康障害の原因になります。
特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。



禁止

●空気の吸込口やマイナスイオン発生装置に指や異物を入れない。
内部でファンが高速回転しておりますのでけがの原因になります。
またマイナスイオン発生装置の近くに指や異物などを入れると感電や故障の原因になります。



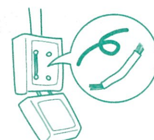
禁止

●包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に保管する。
誤ってかぶったときに窒息し、死亡の原因になります。



幼児の手の届かないところに保管する

●安全器のヒューズ代わりに針金や銅線などを使わない。
故障や火災の原因になります。



禁止

●落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、電源プラグも抜く。
落雷の程度によっては、故障の原因になります。

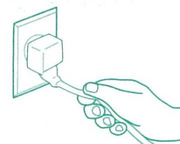

電源プラグを抜く

●改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。
火災・感電・けがの原因になります。


分解禁止

⚠ 注意（CAUTION）

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずプラグを持っておこなう。
電源コードを引っ張って抜くと電源コードの内部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。



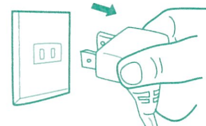
禁止

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。
電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電・ショート・発火の原因になります。
また、コンセントの差し込みがゆるいと感じた時は工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。コンセントを交換しても異常に発熱している場合は販売店に修理依頼してください。


確認

⚠注意（CAUTION）

●掃除をするときは必ず運転スイッチを「切」にし、電源プラグも抜く。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。



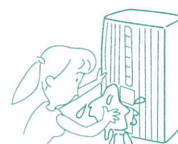

●長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。
ほこりがたまって発熱・発火の原因になることがあります。



●長期使用して傷んだ取付け枠は使用しない。
傷んだ状態で放置するとエアコンの落下につながり、けがなどの原因になります。




●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。




●動物・植物に直接風があたる場所には設置しない。
動物・植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。




●エアコンの上に乗ったり、物をのせたりしない。
落下・転倒などによりけがの原因になることがあります。




●エアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものですので、食品・動物・植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など特殊用途には使用しない。
エアコン自体並びにこれらの品質低下・劣化・故障の原因になることがあります。




●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。




●燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。
換気が不充分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。




⚠ 注意（CAUTION）

●エアコンの風が直接あたる所に燃焼器具を置かない。
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。




●エアコンの上に花瓶など水の入った容器などをのせない。
落下による破損や倒れて水がこぼれると、内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。




●冷房運転時、窓や戸を開放した状態などで（部屋の湿度が 80% を超えたまま）長時間運転したり、上下風向板を下向きにしたままや、吸込口・吹出口をふさぐようにして長時間運転しない。
上下風向板に露がつき、ときには露が落ち、家財などを濡らす原因になることがあります。



●能力以上の負荷（冷房能力以上の広い部屋、多勢の人がいる）で使用しない。
設定温度に達しないことや、露が落ち、家財などを濡らす原因になることがあります。




●洗浄スプレーは使用しない。
市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。



●運転中は、エアコン背面の窓ガラスや網戸を必ず開ける。
閉めたまま運転すると、温風で窓ガラスの破損やエアコンの故障の原因にもなります。また、室外側の吸込口や吹出口が一部でもふさがれていると機械の保護のため冷風が出なくなることがあります。




●雨降りや風の強い時は、運転を停止して窓を閉める。
窓を開けたまま運転すると本体内部や室内に雨が浸水して内部部品や家財等を濡らす原因になることがあります。




●取り外す時は、傾けないように注意する。
内部にたまっている水が滴下して家財等を濡らす原因になることがあります。



各部のなまえとはたらき

本　体

換気フタ

ルーバー（左右風向板）

上下風向板

吹出口

マイナスイオン
発生装置

プレフィルター
（空気中のほこりがエアコン内部に入るのを防ぎます。）

室内側

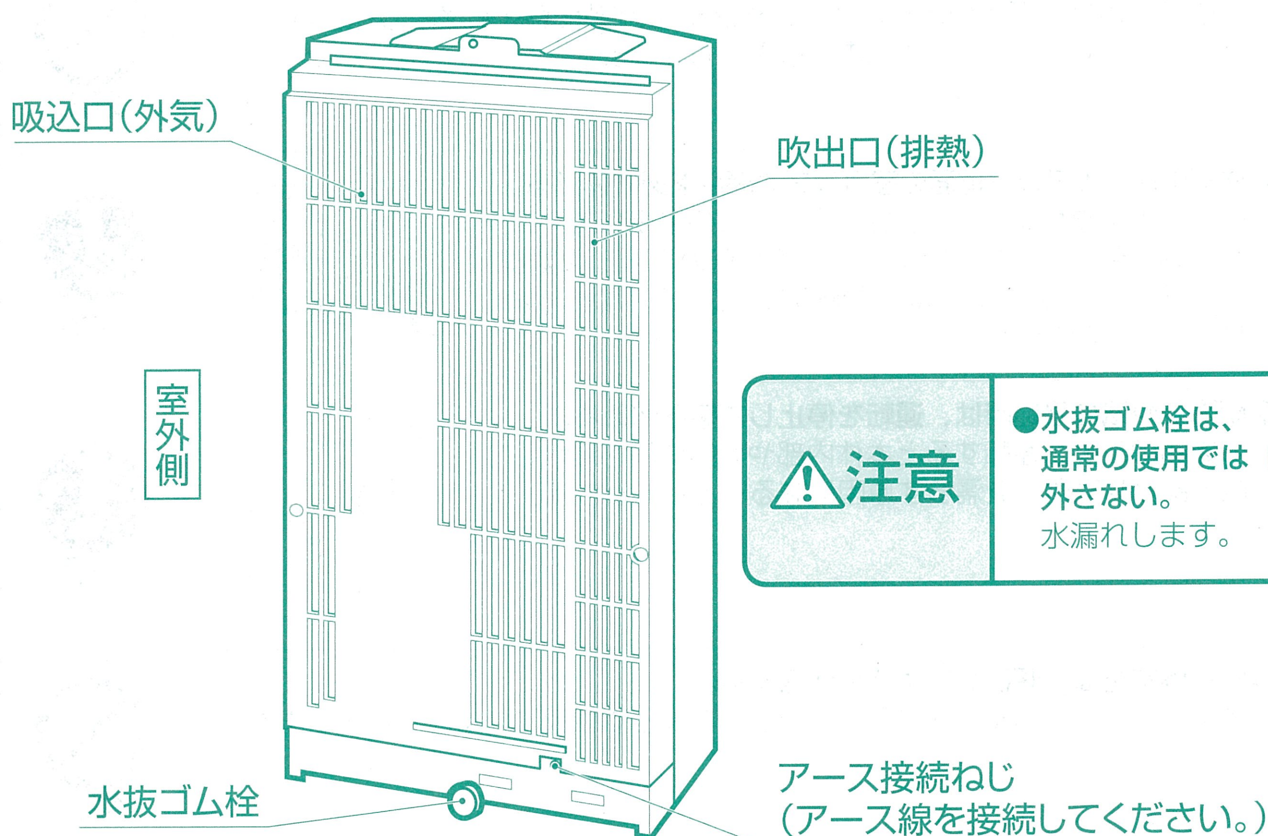
吸込口

操作部[リモコン収納部]
（操作扉を開けるときは、ツマミを持ち矢印方向に開けてください。）
（詳しくは8ページをご覧ください。）

リモコン

電源プラグ

電源コード

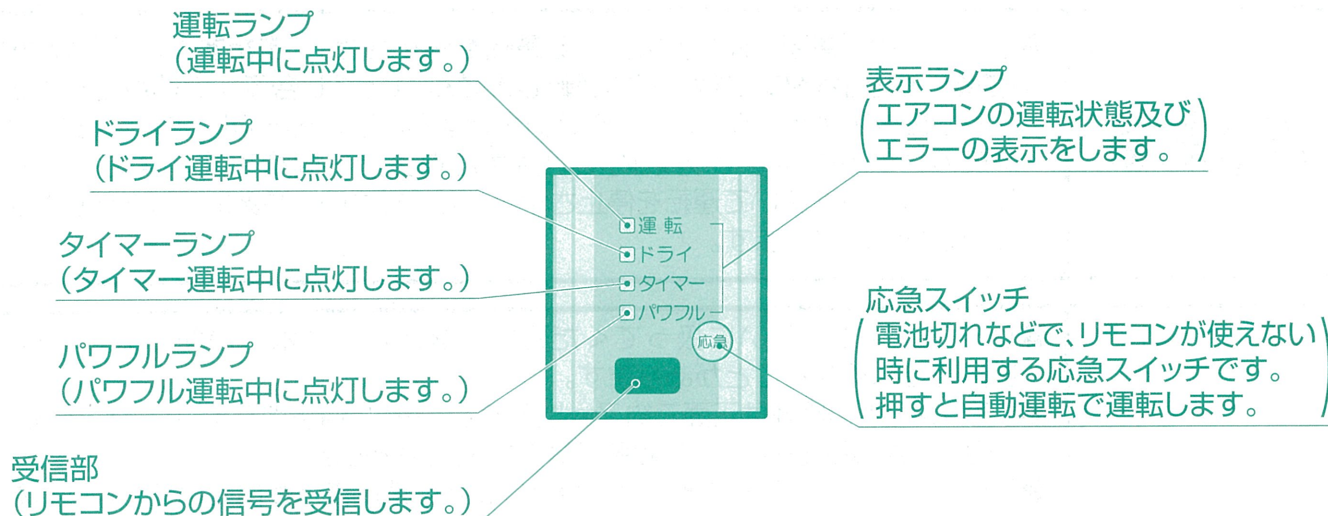


⚠注意

●水抜ゴム栓は、通常の使用では外さない。
水漏れします。

禁止

本体表示部



リモコン

運転／停止ボタン
（押すと「入」、もう一度押すと「切」）

風速切替ボタン
（風速の種類を選びます。）

運転切替ボタン
（運転の種類を選びます。）

スイングボタン
（ルーバー（左右風向板）をスイングさせ、お好みの角度に変えます。）

おやすみボタン
（おやすみ予約の時間を設定します。）

リモコン液晶表示部
（運転モード、風速、設定温度、タイマー時間を表示します。）

温度設定ボタン
（室温を設定します。）

入タイマーボタン
（入タイマー予約の時間を選択します。）

切タイマーボタン
（切タイマー予約の時間を選択します。）

取消ボタン
（タイマー予約を取消します。）

パワフルボタン
（パワフル運転を開始します。）

リセットボタン
（リモコンの設定内容をリセットします。）
（※先の細いピンなどで押してください。）

予約／確認ボタン
（選択した入、切タイマー予約の時間を送信します。また、送信したタイマー予約の内容を確認できます。）

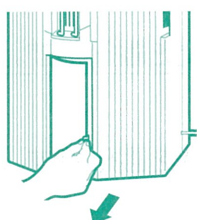
運転前の準備と確認

リモコンの準備（初めてご使用になる前に）

⚠注意	●**リモコンの「運転／停止」ボタンで運転を停止させて、またすぐに（3分以内）「運転／停止」ボタンを押しても運転しません。（ただし各ランプは点灯します。）** これは機械を保護するためで、約３分経過すると運転を再開します。なお、室温調節のセット内容を３分以内に切替えた場合でも同様です。また、むやみに電源プラグを抜いて運転を停止させないでください。頻繁にこれを繰り返すと故障の原因になります。

お願い	●リモコンはていねいに扱ってください。落としたり水がかかったりすると、送信できなくなることがあります。 ●リモコンの受信距離は正面で約7m以下です。室内に電子点灯形（インバータ形）の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあります。 ●リモコン操作をしても作動しない場合、または液晶表示が出ていても作動しない場合は新しい単４形乾電池に２本とも交換してください。このとき動作が正常でない場合は、乾電池を抜き取り５秒以上経過してから、再度セットしてください。 ●乾電池の寿命は通常の使い方で約１年です。ただし、乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、乾電池の交換が早くなります。 ●乾電池を誤って使うと、液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み次の点に特に注意してご使用ください。 万一液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。 ●新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う電池を混ぜて使わないでください。 ●長期間（１ヵ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。

①操作扉のツマミを手前に開けてください。



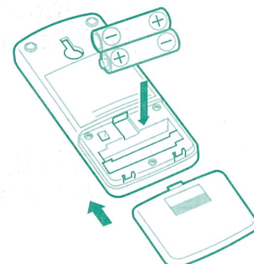
②リモコンの上側のくぼみに指を入れ、手前にリモコンを取り出します。



③リモコンの裏ぶたを下に引いて取りはずします。



④⊕⊖を間違えないように、乾電池を入れてください。



窓や網戸の開放、窓ストッパーの確認

お願い	●外出されるときは運転を停止して、窓を閉めて窓自体の鍵をかけてください。 ●雨風の強い時は、運転を停止して、窓を閉めてください。 ●窓を閉めるときは、窓ストッパーを室内側に引いてください。 ●エアコンを使用する時は、窓やサッシに取付けたパッキン類が一部でも室外側の吸込口や吹出口をふさいでいないか確認してください。 充分な能力が得られなくなります。

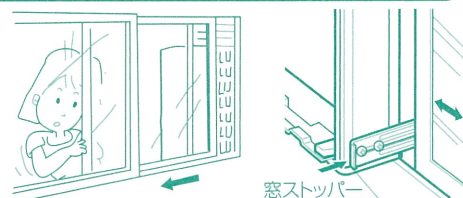
お知らせ	●窓サッシ固定用の鍵は同梱されていません。市販の鍵を購入して施錠してください。

●**窓を開けるのは室外側への放熱のためです。**

①窓や網戸を完全に開けてください。

②窓ストッパーを押し出してください。

③窓や網戸を窓ストッパーに当たるまで、ゆっくり閉めてください。



運転のしかた

（運転するときは、必ずエアコン背面の窓や網戸を完全に開けてください。）


警告

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。電源プラグにたまったほこりなどは定期的に掃除をしてください。



●電源プラグをコンセントに差し込みます。

自動運転

お知らせ

●自動運転では、設定温度は表示されません。受信音（ピピッ）で変更したことを確認してください。
●設定温度を維持する為、コンプレッサーが ON、OFF 制御します。

※自動運転とは…運転を開始したときの室温によって自動で「冷房」「ドライ」「送風」が選択される運転モードです。
※自動運転モードでは、リモコン液晶内に温度表示はありません。
※風速設定は自動で固定されます。
※自動運転中、運転の状態や温度設定がお好みに合わない時は、その他の運転モードでお好みに合った運転をおこなってください。

表示ランプ



冷房・送風選択時



ドライ選択時

1 リモコンの「運転／停止」ボタンを押します。

●**「運転」**ランプが**「点灯」**し、運転を開始します。
ルーバーが自動で開きます。

2「運転切替」ボタンを押して、「自動」にセットします。

●運転モード、風速設定、表示ランプは、運転開始時の部屋の温度に応じて**〔表-1〕**のように自動的に設定されます。（但しリモコンの液晶表示は変わりません。）

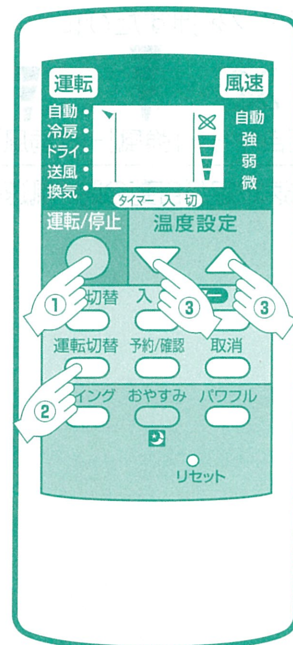
〔表-1〕

運転開始時の部屋の温度	設定温度	運転モード	風速設定	表示ランプ
26℃以上	26℃	冷房	自動	運転
21℃以上、26℃未満	24℃	ドライ	自動	運転＋ドライ
21℃未満	―	送風	微風	運転

●選択された運転モード及び風速設定は室温が変化しても変わりません。
●自動運転で充分な冷房効果が得られない場合は、**「運転切替」**ボタンを押して、冷房運転（強風）に変更してください。

3「温度設定」の「▽」または、「△」ボタンを押します。

●現在の設定温度より 3℃上げる、3℃下げることができます。
●**「温度設定」**ボタンの**「△」**で温度を上げる、**「▽」**で温度を下げることができ、1 回押すごとに 1℃変更します。
（運転を停止すると、この調節機能は解除されます。）



冷房運転

お知らせ	● 16℃～30℃まで設定できます。 ●部屋の温度よりも低い温度にセットしてください。部屋の温度よりも高い温度にセットした場合は、冷房運転をしません。ただし送風は続けます。 ●リモコンの**「運転／停止」**ボタンにより再度冷房運転を再開した場合、設定温度は前回設定した温度になっていますので、**「温度設定」**ボタンを押して、適切な温度に設定し直してください。 ●冷房運転中は設定温度を維持するためにコンプレッサーがON・OFF制御します。

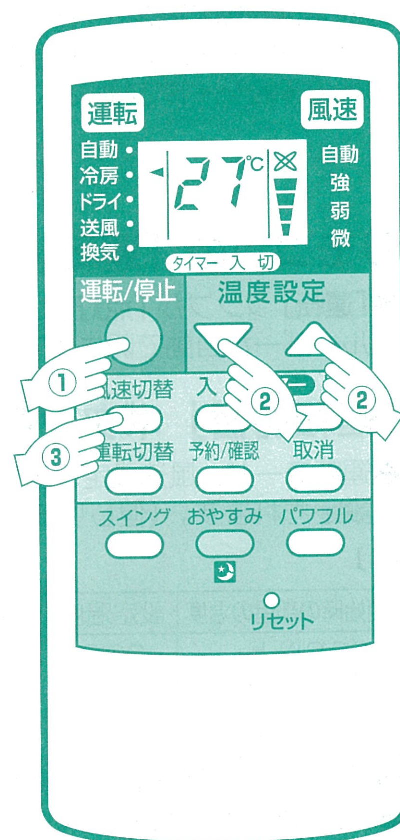
1 リモコンの「運転／停止」ボタンを押します。

●**「運転」**ランプが**「点灯」**します。
ルーバーが自動で開きます。
●リモコンの液晶表示部に運転モード、風速設定、設定温度が表示されます。



2 「温度設定」の「▽」または、「△」ボタンを押します。

●お好みの温度に設定します。
● 1 回押すごとに 1℃変化します。
●経済的な使い方として26℃～28℃に設定することをおすすめします。



3 「風速切替」ボタンを押して風速を選びます。

●ボタンを押すたびに

と表示が変わります。
→[自動]→[強風]→[弱風]→[微風]┐

●風速設定が自動の時、風速の切替えは自動的におこないます。

ドライ運転

お知らせ	●部屋の温度よりも高い温度にセットした場合は、ドライ運転をしません。 ●リモコンの **「運転／停止」** ボタンにより再度ドライ運転を再開した場合、温度設定は前回設定した温度になっていますので **「温度設定」** ボタンを押して、適切な温度に設定し直してください。 ●ドライ運転中は設定温度を維持するためにコンプレッサー、室内ファンが ON・OFF 制御します。

1 リモコンの「運転／停止」ボタンを押します。

●**「運転」** ランプが **「点灯」** します。
ルーバーが自動で開きます。



2 「運転切替」ボタンを押して、「ドライ」にセットします。

●**「ドライ」** ランプが **「点灯」** します。
●リモコンの液晶表示部に運転モード、風速設定、設定温度が表示されます。
●風速は [スロー風] になります。
●風速の変更はおこなえません。

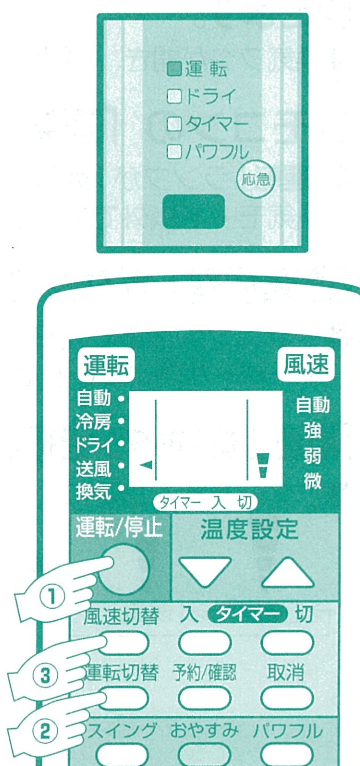
3 「温度設定」の「▽」または、「△」ボタンを押します。

●部屋の温度より 2 ～ 3℃低い温度にセットします。

送風運転

1 リモコンの「運転／停止」ボタンを押します。

●**「運転」** ランプが **「点灯」** します。
ルーバーが自動で開きます。



2 「運転切替」ボタンを押して、「送風」にセットします。

●リモコンの液晶表示部に運転モード、風速設定が表示されます。

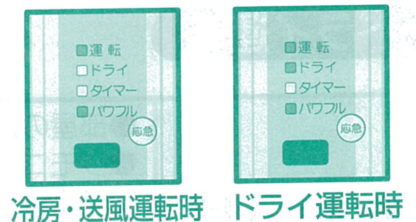
3 「風速切替」ボタンを押してお好みの風速にセットします。

●ボタンを押すたびに



と表示が変わります。

パワフル運転



※パワフル運転は一時的に冷風効果を上げる為の運転モードです。

1 リモコンの「運転／停止」ボタンを押します。

●「**運転**」ランプが「**点灯**」します。
ルーバーが自動で開きます。

2 リモコンの「パワフル」ボタンを押します。

●運転中は「**運転**」と「**パワフル**」ランプが「**点灯**」します。
● 20 分後に通常の運転に戻り、ランプは消灯します。

3 リモコンの「パワフル」・「運転切替」・「風速切替」・「温度設定△」ボタンを押すと解除できます。

●パワフル運転は、リモコン表示が変わりません。

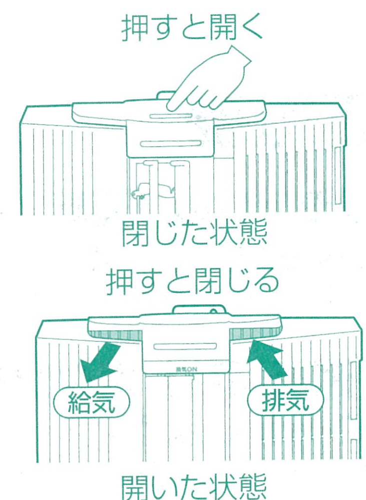


換気運転（単独）

お願い	●換気運転中に換気フタを閉めると、ファンからの風が出ないため、換気運転をやめるときは、運転を停止してから換気フタを閉めてください。

お知らせ	●換気フタを押すと「カチッ」と音がしますが、ロックがはずれる音であり、異常ではありません。 ●運転を停止している時は、換気をおこないません。

※換気運転（単独）は自動・冷房・ドライ・送風運転をしないで、
換気のみをおこなう運転です。



1 「換気フタ」の「PUSH」の位置を押すと換気フタが開きます。

●換気フタが開き、「換気モード」になります。

2 リモコンの「運転／停止」ボタンを押します。

●「**運転**」ランプが「**点灯**」します。
換気モード以外であればルーバーが自動で開きます。

3 「運転切替」ボタンを押して、「換気」運転にします。

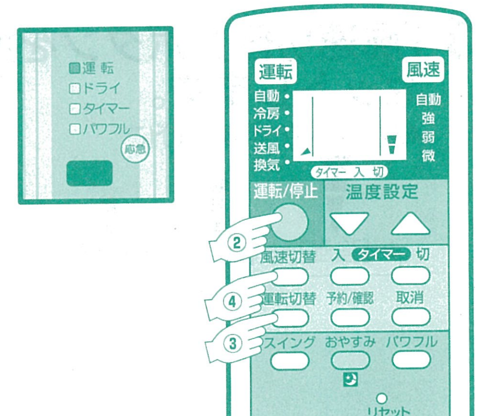
●リモコンの液晶表示部に運転モード、風速設定が表示され、
ルーバーが開いていれば自動で閉じます。

4 「風速切替」ボタンを押してお好みの風速にセットします。

●ボタンを押すたびに



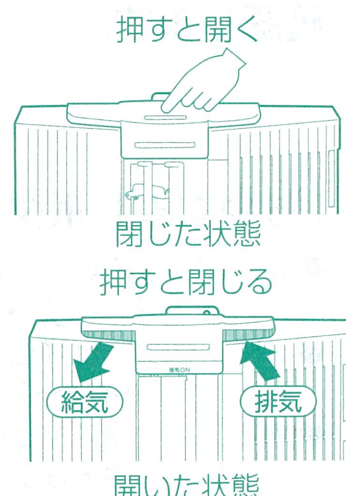
と表示が変わります。



換気運転（併用）

お知らせ	●換気フタを押すと「カチッ」と音がしますが、ロックがはずれる音であり、異常ではありません。 ●部屋を冷やしたい時にこの運転をおこなうと、冷房効率が若干低下します。 ●運転を停止している時は、換気をおこないません。

※換気運転（併用）は、自動・冷房・ドライ・送風運転をしながら室内の汚れた空気を室外に排出し、室外のきれいな空気を室内に吸い込む運転です。



1 「換気フタ」の「PUSH」の位置を押すと換気フタが開きます。

●換気フタが開き、「換気モード」になります。

2 リモコンの「運転／停止」ボタンを押します。

●**「運転」**ランプが**「点灯」**します。ルーバーが自動で開きます。

3 開いた状態の時に「換気フタ」を再度押すと換気フタが閉まり、換気運転（併用）をやめることができます。

リモコンの表示

風速の種類

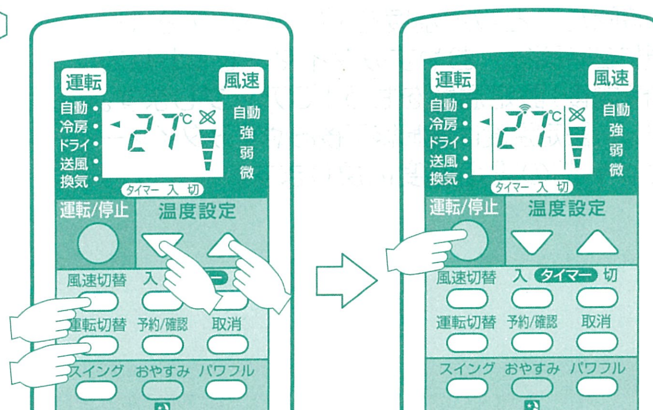
風速	風速の表示	風速の種類
自動		現在の室温と設定温度の温度差により**「強」・「弱」・「微」風**の中から自動的に設定されます。
強風		速く冷やすための風
弱風		静かな風
微風		おやすみのときなどのより静かな風
スロー風		ドライ運転のときだけの風

●ドライ運転の場合、室温が設定温度になると、自動的に送風が停止することがありますが、故障ではありません。

リモコン操作について

●運転開始前、あらかじめ運転モード、風速設定、設定温度を選択して、その後に運転を開始することもできます。運転前にあわてることなく、運転方法を選ぶことができます。(但し、運転モード、風速設定、設定温度選択中に何もボタンを押さないと表示は消えてしまいます。)

〔例〕



〔運転モード、風速設定、設定温度選択〕　〔運転開始〕

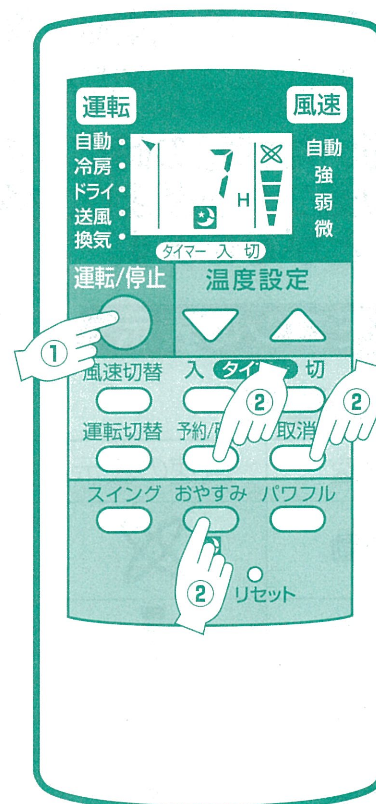
おやすみタイマー運転

お知らせ
- おやすみタイマー運転は、おやすみ中の体温の低下を考慮し、設定室温を徐々に上昇させ、冷えすぎないようにする運転方法です。
- 運転を停止させるまでの設定時間は 1、2、3、5、7 時間後です。

1 リモコンが運転状態であることを確認します。



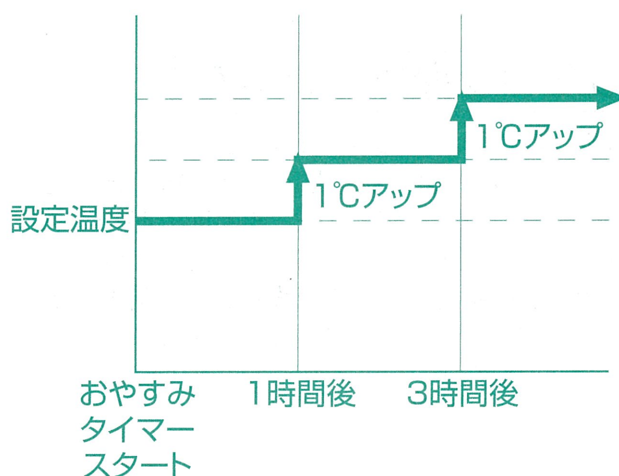
2 「おやすみ」ボタンを押します。



- ボタンを1度押すと 1H と表示します。ボタンを押していくと、2H→3H→5H→7H と表示します。
- "ピッピッ" と受信音がして、エアコン本体表示ランプの **「タイマー」** ランプが **「点灯」** します。
- 時間のセットをするとき、誤って時間を多くセットしたときは、7H の後もう一度 **「おやすみ」** ボタンを押すとキャンセルとなり、更にもう一度 **「おやすみ」** ボタンを押すとまた 1H から表示を始めます。
- リモコンのタイマー時間セット3秒後に運転状態とおやすみマーク の表示を残して、タイマーセット時間は消灯します。
- 必ずエアコン本体表示ランプの **「タイマー」** ランプが **「点灯」** したことを確認してください。
- タイマーセット時間消灯後 **「予約／確認」** ボタンをもう一度押すとタイマー残り時間を表示します。
- 設定したおやすみタイマー運転を取り消す場合は、**「取消」** ボタンを押してください。"ピー" と音がして、リモコンのおやすみマーク とエアコン本体表示ランプの **「タイマー」** ランプが消灯します。

おやすみタイマー運転モード

おやすみタイマーをセットすると、セット後1時間たつと設定温度を1℃アップさせ、更に2時間後（おやすみタイマーセットして3時間後）設定温度をもう1℃アップします。但し、設定温度は運転終了後おやすみタイマーセット前の設定温度に戻ります。



切タイマー運転

お知らせ	●「切タイマー」と「入タイマー」は同時にセットできません。 ●タイマー設定中に電源プラグを抜いた場合や停電した場合は、設定が解除されますので、初めから操作をやり直してください。 ●「切タイマー」は運転停止中では設定できませんので、運転中に「切タイマー」予約をしてください。

※切タイマー運転は、現在の運転状態をある時間後に停止させる（切タイマー）運転です。

1「切」ボタンを押します。

●ボタンを1度押すと 0.5H と点滅表示します。ボタンを押していくと、 1H → 2H …… 10H → 11H → 12H と表示します。

● 0.5H は30分を意味し、1時間以上は1時間単位の設定になります。最大で 12 時間まで設定できます。



2「予約／確認」ボタンを押します。

● "ピッピッ"と受信音がして、エアコン本体表示ランプの**「タイマー」**ランプが**「点灯」**します。

●リモコンの液晶はタイマー時間セット3秒後に運転状態とタイマーマーク、切タイマー矢印 を残してセット時間は消灯します。

●必ずエアコン本体表示ランプの**「タイマー」**ランプが点灯したことを確認してください。

●タイマーセット時間消灯後、**「予約／確認」**ボタンをもう一度押すとタイマー残り時間を表示します。

●設定した切タイマー運転を取り消す場合は、**「取消」**ボタンを押してください。"ピー"と音がしてリモコンのタイマーマーク、切タイマー矢印 とエアコン本体表示ランプの**「タイマー」**ランプが消灯します。



入タイマー運転

お知らせ	●「切タイマー」と「入タイマー」は同時にセットできません。 ●タイマー設定中に電源プラグを抜いた場合や停電した場合は、設定が解除されますので、初めから操作をやり直してください。 ●入タイマーを設定したあとに、電源プラグを抜いたり、停電があると運転しません。

※入タイマー運転は、エアコンをご希望の時間後に運転させる（入タイマー）運転です。

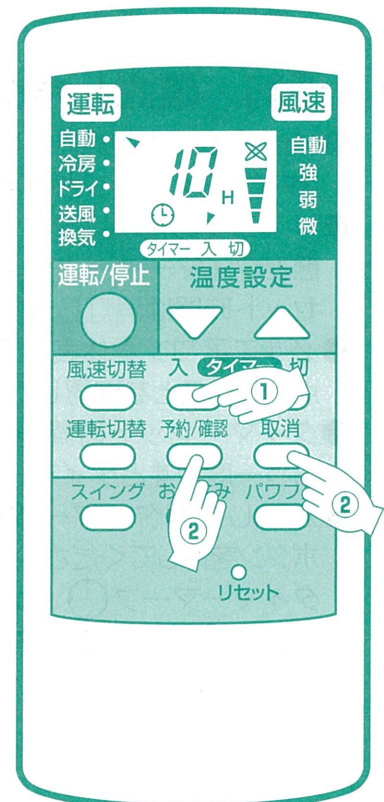
1「入」ボタンを押します。



●ボタンを1度押すと [0.5H] と点滅表示します。ボタンを押していくと、[1H]→[2H]……[10H]→[11H]→[12H]と表示します。

●[0.5H]は30分を意味し、1時間以上は1時間単位の設定になります。最大で 12 時間まで設定できます。

2「予約／確認」ボタンを押します。



●"ピッピッ"と受信音がして、エアコン本体表示ランプの**「タイマー」**ランプが**「点灯」**します。

●リモコンの液晶はタイマー時間セット3秒後にタイマーマーク🕒、入タイマー矢印▶を残してセット時間は消灯します。

●必ずエアコン本体表示ランプの**「タイマー」**ランプが点灯したことを確認してください。

●タイマーセット時間消灯後、**「予約／確認」**ボタンをもう一度押すとタイマー残り時間を表示します。

●設定した入タイマー運転を取り消す場合は、**「取消」**ボタンを押してください。"ピー"と音がしてリモコンのタイマーマーク🕒、入タイマー矢印▶とエアコン本体表示ランプの**「タイマー」**ランプが消灯します。

風向調節のしかた

左右の風向調節



⚠警告

●空気の吸込口や吹出口やマイナスイオン発生装置に指や異物を入れない。
内部でファンが高速回転しておりますのでけがの原因になります。
またマイナスイオン発生装置の近くに指や異物などを入れると感電や故障の原因になります。



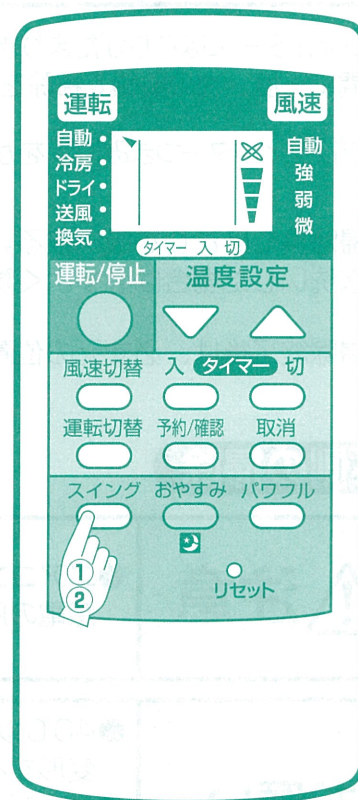
お願い

●ルーバーは絶対に手などで無理に動かさないでください。必ずリモコンを使用してください。故障することがあります。

1 ルーバースイングによる風向きの調節

●**「スイング」**ボタンを1度押すとルーバーが左右にスイングをします。

●自動運転開始後 10 秒間はスイングをしません。
●ドライ運転などで室内ファンが止まっているときは、ルーバーも停止します。



2 風向きをお好みの方向に固定する場合

●**「スイング」**ボタンを 1 度押してルーバーを動かし、お好みの位置になったら、再度**「スイング」**ボタンを押して止めてください。

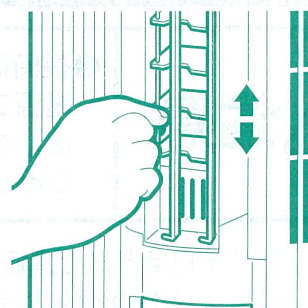
●運転を停止するとルーバースイングは止まり、吹出口を閉じます。再び運転すると、ルーバースイングになります。

上下の風向調節

お願い

●上下風向板を下向きにしたままや、吹出口がふさがるようにして長時間運転をしますと、露がつき水滴が落下することがあります。

●上下風向板でおこないます。通常の運転では水平、または上向きでご使用ください。



お手入れのしかた

⚠注意

●**掃除をするときは必ず運転スイッチを「切」にし、電源プラグも抜く。**
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。



プレフィルターの掃除

お願い

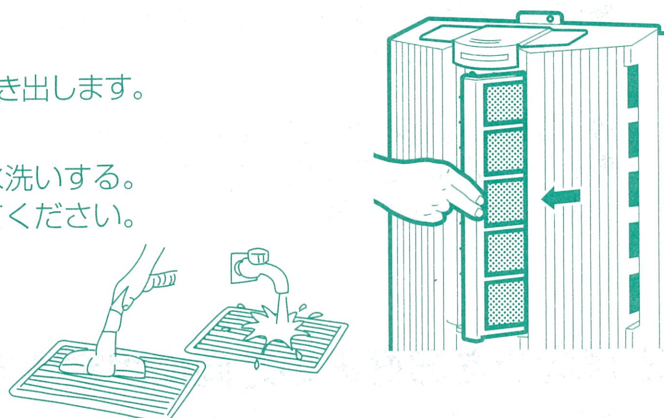
●プレフィルターを出し入れするときは、パネルを傷付けないようにしてください。
● 40℃以上のお湯で洗わないでください。プレフィルターが縮むことがあります。
●プレフィルターをはずしたままで運転しないでください。本機内にほこりが入り故障の原因になります。
●手荒に扱うとプレフィルターが破れたり、枠が折れることがあります。

プレフィルターにほこりがたまりますと、空気の通りが悪くなり、冷房効果が低下します。
2 週間に一度、次の要領で掃除をしてください。

1 プレフィルターつまみに手をかけ、ゆっくりと左へ引き出します。

2 掃除機でほこりを吸い取る。汚れがひどい場合は水洗いする。
水洗いした場合は必ずよく陰干ししてから取付けてください。

3 掃除終了後は、必ず元の位置に取付けてください。



外側の掃除

⚠注意

●**エアコンを水洗いしない。**
感電の原因になることがあります。

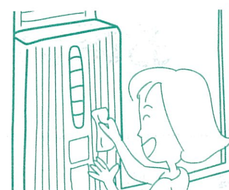


お願い

●40℃以上のお湯は使わないでください。プラスチックが変形することがあります。
●ベンジン・シンナー・みがき粉などは使わないでください。塗装面やプラスチックをいためます。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。



●やわらかい布でからぶきしてください。

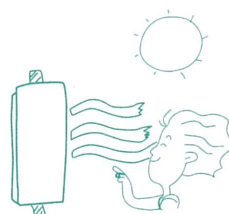


1ヵ月以上使わないときは

⚠注意

●**長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。**
ほこりがたまって発熱・発火の原因になることがあります。





●晴れた日に半日ほど送風運転をおこない、エアコン内部を乾燥させてください。内部が濡れたままで長時間使わないと、カビが発生しやすくなります。

知っておいていただきたいこと

使用の時は

●停電したとき

停電したあと再び電気がきても、保護回路の働きでエアコンは停止したままです。運転を再開するときは、あらためて「運転／停止」ボタンを押してください。





●長い間エアコンを使わないとき

電源プラグを抜いておくことをおすすめします。電源プラグを差し込んだままの状態ですと、運転しなくてもコンピューター回路でわずかに電気が消費されます。

●ご使用いただける温度・湿度・条件

冷房運転は「外気の温度:約 21℃～ 43℃の範囲」「部屋の温度:約 21℃～ 32℃の範囲」「部屋の湿度:85%以下」でご使用ください。

上記以外の条件で運転されますと保護装置がはたらき運転できないことや、除湿水が室内側へ滴下することがあります。また、日ざしが強く本体背面にあたる時も本体内の温度が上昇し、保護装置がはたらいたり、充分な能力を得られない場合があります。この時は設置場所を変えるか、本体背面に日ざしをさえぎる処置をしてください。(風通しが悪くならないようご注意ください。)

●除湿水の処理について

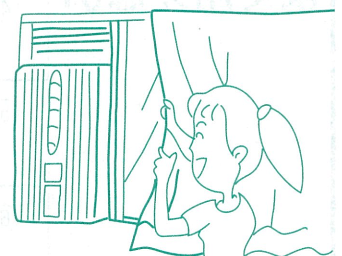
運転中に出る除湿水はエアコン内部で処理し、外部には出さないようになっています。万一の故障などにより処理ができなくなったときは、室外側へ滴下します。
このようなときは運転を停止し、電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。
洗たく物の乾燥など、特殊な用途に使用しないでください。本機の除湿水処理能力を超えますと、室外側へ水滴が落下するなど、故障の原因となります。

経済的で快適にお使いいただくために



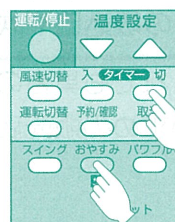
●セット温度は適正に

セット温度は、下げ過ぎないようにしてください。



●窓にはカーテンかブラインドを

冷房時に、直射日光の当たる窓には、熱もれを防ぐために、カーテンをかけるかブラインドを下ろしてください。





●タイマーの有効活用

夜は“おやすみ運転”など、タイマーを有効にご活用ください。



●窓や戸はきちんと閉めて

エアコンの取付けられていない窓や戸を閉め忘れたり、完全に閉まっていなかったりすると、冷気が逃げて電気のムダ使いになります。
また、エアコン運転中に換気扇をまわすとわずかな隙間から室外の空気が入り適正な室温管理ができなくなることがあります。

サービスを依頼する前に

故障かな？と思ったら　次のことをお調べください。

お知らせ

●**正常な運転の状態**
吹出口から出る風の温度と、室外温度との温度差が、冷房時 8℃程度あれば正常な運転状態です。
室内・室外の周囲温度、周囲湿度の運転状況により、製品の吹出口から、不均一な温度の冷風がでる場合がありますが、充分能力は発揮されており異常ではありません。

症　状	確認箇所	処置方法
運転しない	①リモコンの乾電池が古くなっていませんか？ 入れ方をまちがっていませんか？	確認する （8 ページ参照）
	②電源プラグが差し込まれていますか？	電源プラグの差し込みを確認する。
	③ご家庭用のヒューズやブレーカーが切れていませんか？	―――
	④停電ではありませんか？	―――
よく冷えない	①プレフィルターにほこりが詰まっていませんか？	プレフィルターを掃除する。
	②"温度設定"のセットは適正になっていますか？	確認する。
	③上下風向板は運転内容にあった正しい位置になっていますか？	正しい位置になおす。
	④室外側の吸込口や吹出口を障害物などでふさいでいませんか？	正常な状態にする。
	⑤部屋の窓や戸があいていませんか？ 換気扇がまわっていませんか？	確認する。
	⑥エアコン背面の窓や網戸は開けてありますか？ サッシなどに取付けたパッキン類が一部でも室外側の吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	確認する。

※以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや下記のような現象が出たときは、電源プラグを抜き、すぐお買い求めの販売店にご連絡ください。

●ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
●スイッチの動作が不確実。
●誤ってエアコン内部に異物や水を入れてしまった。
●焦げ臭いにおいがする。
●電源コードの過熱や電源コードの被覆に破れがある。
●表示ランプにエラー表示がでる。

これは故障ではありません。

こんな場合	原　因
停止直後に再運転できない。	運転を停止後３分間は、再運転をストップして機械を守り、ヒューズ、ブレーカー切れを防ぎます。 （マイコンに組込んである３分間保護回路が自動的に働きます）
ときどき水の流れるような音（シュルシュル、シャー）や、沸騰するような音（ボコボコ）がすることがある。	これは機械の中の液（冷媒）が流れる音です。停止中も出ることがあります。
「ピチャピチャ」という音がすることがある。	これは機械の内部で除湿水の処理をしている音です。
ときどき「キシキシ」という小さな音がすることがある。	これはエアコン自身が温度変化によって膨張したり収縮するために出る音です。
冷房運転中に吹出口から霧が出ているように見えることがある。	これは低温多湿時に見られる現象で、部屋の空気が冷風で冷やされて霧になるためです。
エアコンからにおいが出てくることがある。	これは空気中に含まれているいろいろなにおい（たばこの煙、化粧品、食品、ペット臭など）がエアコンに付着し、それが吹き出すためです。
リモコンがきかない	リモコン信号をエアコンが受信ミスした可能性があります。いったんリモコンで運転停止し、再度運転してください。
	エアコンやリモコン付近で蛍光灯がついているとリモコン信号を受信しないことがあります。蛍光灯の位置を変えるか、蛍光灯を消して再度運転してください。
	乾電池の消耗により液晶表示が出ていても信号を送信しないことがあります。新しい乾電池に２本とも交換してください。

お願い

それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡のうえ修理をお申しつけください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

●お申し出により 出張修理 いたします。

表示ランプ

※本機は故障・異常が生じたら、エアコン本体表示ランプの「点滅」･「点灯」で異常原因を表示します。

☀＝遅い点滅（パッ…パッ…）　☼＝早い点滅（パッ、パッ、パッ、）　●＝点灯

表示ランプの表示			原　因	処　置
運 転	ドライ	タイマー		
☀	☀	☀	●電源周波数判定の異常です。	●電源プラグをコンセントに差し直してください。再度点滅した時は販売店にご相談ください。
☀			●停電後、復帰しました。 ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき。	●故障ではありません。リモコンで運転させてください。
		☀	●配管サーミスタが断線しました。	●販売店にご相談ください。
	☀	☀	●配管サーミスタが短絡しました。	●販売店にご相談ください。
		☼	●室温サーミスタが断線しました。	●販売店にご相談ください。
	☼	☼	●室温サーミスタが短絡しました。	●販売店にご相談ください。
●		☀	●冷房運転時、室内側の熱交換器が凍結しないための制御です。	●故障ではありません。
●	●	☀	●ドライ運転時、室内側の熱交換器が凍結しないための制御です。	●故障ではありません。

●パワフルランプは「点滅」･「点灯」しません。
●上記以外に不明な点がございましたら、お買い求めの販売店までお問い合わせください。

定期点検

半年～１年に一度定期的に次の点検をおこなってください。
もしご不審な点がありましたら、すぐお買い求めの販売店にご連絡ください。

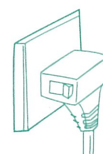
コンセント



●**電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。**
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。電源プラグにたまったほこりなどは定期的に掃除をしてください。



確認



電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？
電源プラグとコンセントの間に"ゆるみ"がないことを確認してください。

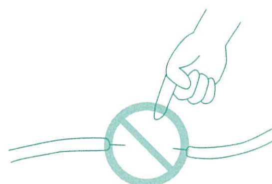
アース線



●**アースを確実におこなう。**
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。アース工事は、電気工事士の資格が必要です。お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。



アース



アース線が外れていたり、途中で切れたりしていませんか？



取付け枠

⚠注意

●長期使用して傷んだ取付け枠は使用しない。
傷んだ状態で放置するとエアコンの落下につながり、けがなどの原因になります。





取付け枠が極端にさびている、あるいは傾いているなど、据え付けが不安定になっていませんか。

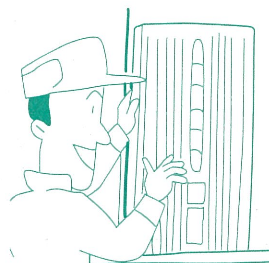


点検整備

⚠注意

●洗浄スプレーは使用しない。
市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路が詰まり、水漏れや感電の原因にもなります。





●**エアコンを数シーズン使いますと、内部が汚れ性能が低下することがあります。**
使用状態によっては、ごみやほこりで除湿水の排水経路を詰まらせることもあります。
●通常のお手入れとは別に、点検整備をおすすめします。
●点検整備には専門技術を必要とします。
点検整備は、お買い求めの販売店にご相談ください。

長年ご使用のエアコンの点検を

●電源コードの一部やプラグが、さわれなくなるほど熱くなったりしてませんか？
●焦げ臭いにおいがしたりしてませんか？
●エアコンから、室内に水漏れしてませんか？
●エアコンの取付け枠が腐食したりゆるんでいたりしてませんか？
●電源プラグの差込部が変色してたりしてませんか？
●運転音が異常に高くなったりしてませんか？
●漏電ブレーカーがひんぱんに落ちたりしてませんか？
●その他の異常や故障がありませんか？



愛情点検

以上のような症状の時は、使用を中止し故障や事故の防止のため、必ずお買い求めの販売店に点検をご相談ください。

仕　様

型式		TIW-A180CSI
電源		単相 100V
定格周波数（Hz）		50／60
冷房能力（kW）		1.6／1.8
除湿能力（冷房時）（L／h）		1.0／1.2
冷房面積の目安（m²）	鉄筋アパート南向き和室	11／12
	木造南向き和室	7／8
運転電流（A）	冷房	6.6／7.0
消費電力（W）	冷房	575／674
騒音（dB）	室内	41／43
	室外	47／49
電源コード長さ（m）		1.8
外形寸法（幅×奥行×高さ）（mm）		361 × 275 × 742
製品質量（kg）		23

●この仕様値は、JIS（日本工業規格）にもとづいた数値です。　「／」で示される数値は左が 50Hz、右が 60Hz の値です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】

●経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】本体に西暦表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

〈設計上の標準使用期間とは〉

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●標準的な使用条件　日本工業規格　JIS C 9921-3による

	項目	条件
環境条件	電源電圧	単相100V
	周波数	50／60Hz
	冷房室内温度	27℃（乾球温度）
	冷房室内湿度	47%（湿球温度 19℃）
	冷房室外温度	35℃（乾球温度）
	冷房室外湿度	40%（湿球温度 24℃）
	設置条件	標準設置

負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋（畳数）

	項目	時間
想定時間	1日の使用時間	9時間／日
	1年間の使用時間	1008時間／年
	1年間の標準使用日数	東京モデル 冷房6月2日から9月21日までの112日間

●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

●**この商品は保証書付きです。**保証書は、販売店で所定事項をご記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●**保証期間はお買い求めの日から１年間です。**（ただし、冷凍サイクル部分は５年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●**保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。**
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について
エアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後９年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて



警告

●**修理は、お買い求めの販売店または、別紙の お客様相談窓口一覧 に相談する。**
ご自分で修理をされ、不備があると感電･火災等の原因になります。



お知らせ

●**廃棄時にご注意願います。**
2001年4月施行の家電リサイクル法では､お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

使用中に異常が生じたときは、直ちに電源プラグを抜き、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。

型　　式…TIW-A180CSI
故障状態…できるだけ詳しく
ご芳名・ご住所・お電話番号

アフターサービスでお困りの場合は
アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合、お買い求めの販売店か、別紙の **お客様相談窓口一覧** にお問い合わせください。

転居されるときは
ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での当社製品取扱店を紹介させていただきます。

再取付け工事のお申し込みは
販売店に再取付け工事（転居または別の部屋への移設）を依頼する場合は、取付け工事の繁忙期に当たる夏期は工事が遅れぎみになりますので、できるだけ避けるようお願いいたします。
費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。

トヨトミ ルームエアコン 保証書

本保証書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い求め日から下記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

型　式　TIW-A180CSI　保証期間　本体　1年間
冷凍サイクル（詳しくは下記をご覧ください。）　5年間

※お買い求め日　年　月　日

※お客様 ご芳名　様

〒□□□-□□□□

ご住所

〔電　話　（　）　〕

※販売店名・住所・電話番号

（※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は無効となりますから必ずご確認ください。）

株式会社 トヨトミ　名古屋市瑞穂区桃園町5番17号　〒467-0855　☎052-822-1144

【無　料　修　理　規　定】

1. お買い求め日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼附ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容により、お買い求めの販売店または当社が無料修理致します。
2. 無料修理をお受けになる場合は、本書あるいは購入日・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店または当社にご依頼ください。
3. ご転居やご贈答品等でお買い求めの販売店に修理を依頼できない場合は、当社までお問い合わせください。
4. 保証期間内でも、次の場合は有料になります。

（イ）取扱説明書、本体貼附ラベル等の注意書に従わない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
（ロ）お買い求め後の器具の転倒、落下、衝撃、輸送等による故障及び損傷。戸外等での使用による故障及び損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、ガス害、塩害、異常電圧、公害、その他環境要因による故障及び損傷。
（ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輌・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷。
（ホ）部品の消耗による故障や損傷、部品交換及びメンテナンスの費用。
（ヘ）本書にお買い求め年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払明細書の提示がない場合。ネット販売等を利用した個人売買品や譲渡品、中古品（再生品）の修理。
（ト）本書のご提示がない場合。

5. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合は、出張に要する実費を申し受けます。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店または、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。

●お客様の個人情報は、当社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

●冷凍サイクルとは
圧縮機、凝縮機、毛細管、冷却器および配管で構成された冷媒循環回路のことです。

修理メモ

株式会社 トヨトミ

ホームページ　http://www.toyotomi.jp

本　社　〒467-0855
名古屋市瑞穂区桃園町5番17号
フリーコール　0120-104-154
TEL〈052〉822-1144
FAX〈052〉822-2742